

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	令和元年度第2回入間市環境審議会
開 催 日 時	令和元年7月29日(月) 午前10時00分 開会・正午 閉会
開 催 場 所	市民活動センター 活動室1
議 長 氏 名	黒瀧 孝秀
出席委員(者)氏名	黒瀧 孝秀、川名 千鶴子、相葉 学、加治 隆、木内 勝司、 斎藤 令子、篠塚 玲子、永井 健一、中村 巖、平塚 尚吾、 森 友和、森谷 秀一
欠席委員(者)氏名	犬塚 裕雅、伊藤 雅道、高村 賢二、
説明者の職氏名	環境課長 浅川 英雄 環境課副主幹 中村 裕美子
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 1 第三次入間市環境基本計画の策定について 2 その他 4 閉会
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	0名
配 布 資 料	第三次環境基本計画 第1章、第2章
事務局職員職氏名	環境経済部長 長谷川 功、環境経済部次長 西澤 章 環境課長 浅川 英雄、環境課主幹 中村 裕美子、 環境課副主幹 友野 明男
会議録作成方法	要点筆記

## 会 議 録 (2)

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 ) ・ 決 定 事 項

- 1 開会 進行：浅川課長
- 2 会長あいさつ  
黒瀧会長
- 3 議題  
第三次入間市環境基本計画の策定について  
説明：中村主幹  
次回の審議会開催日について  
説明：浅川課長
- 4 閉会  
川名副会長

会 議 録 ( 3 )

発 言 者	発 言 内 容
議長 (黒瀧会長)	<p>議題 1 の第三次入間市環境基本計画の策定について審議します。</p> <p>今回の資料は、前回の審議会において、具体的施策 (案) の資料について内容等が理解し難いことや新たに指摘された意見について、ワーキングチームで検討を重ねた資料です。</p> <p>初めに事務局から説明をお願いします。</p>
中村主幹	<p>今回の資料を策定した経緯について説明します。</p> <p>平成 31 年 1 月 28 日の審議会では、基本方針と基本施策について協議し、第三次計画の基本方針を第二次計画の基本方針とは順番を逆にした基本方針と基本施策の枠組みについて了承され、前回 (4 月 12 日) の審議会では、基本方針ごとの具体的内容を説明しました。</p> <p>しかし、“体系図”だけの資料では、計画策定の経緯が分かりづらいとのご指摘がありましたので、今回、計画書の形にまとめたものです。</p> <p>○資料 第 1 章</p> <p>『1. 計画策定の背景 1-1. 国内外の動向』</p> <p>国内、世界規模での環境に関する動向を記載しました、国内、世界規模の環境に関する動向は、幅広く多岐に亘る事柄となります。第三次計画では気候変動と温暖化、廃プラスチック問題、少子高齢化、人口減少に伴う自然環境に関する問題や、平成 27 年 9 月に国連で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」や「パリ協定」と国の第五次環境基本計画に着目した内容となっています。</p> <p>『1. 計画策定の背景 1-2. 入間市の動向』</p> <p>入間市で実際に起きている気候変動の影響や、ごみ減量に関する内容となっています。</p> <p>『2. 第二次環境基本計画の検証 2-1. 第二次入間市環境基本計画の進捗状況』</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>毎年作成している環境報告書。その報告書に関する環境審議会の意見を基にした内容です。</p> <p>『2. 第二次環境基本計画の検証 2-2. 第二次入間市環境基本計画の評価と課題』</p> <p>第二次計画の検証結果から第三次計画に向けた課題として、二酸化炭素排出量の削減と豊かな自然環境の保護を課題としました。</p> <p>『3. 第三次環境基本計画』</p> <p>内容は、計画の目的、計画期間、位置付け等です。</p> <p>『4. 望ましい環境像』</p> <p>第二次計画の考えを引き継ぐとともに、社会情勢の変化や第6次入間市総合計画の趣旨を踏まえ、現在の入間市の現状と課題から第二次計画の望ましい環境像とは順番を変更しました。</p> <p>『5. 基本方針』</p> <p>基本方針1は、循環型社会、地球温暖化による地球規模の環境。基本方針2は自然環境。基本方針3は都市環境。基本方針4は身近な生活としています。そして、基本方針5では、基本方針1から4までの目的を実現するための手段となる環境学習やその実践について基本方針としました。</p> <p>『6. 持続可能な開発目標（SDGs）への貢献』</p> <p>SDGsは、具体的な数値目標や具体的な取り組みが示されていませんが、国の環境基本計画では、SDGsの実現が地域の課題解決にも直結するものと考えられています。入間市での取り組みで、入間市の課題を解決することで、SDGsの達成にも貢献しているものと考えます。</p> <p>事務局から資料作成の経緯と第1章について説明がありましたが、ご質問はありますか。</p>
木内委員	<p>『1-2. 入間市の動向』は、第三次計画のベースになるが、動向と言っても今までのことを羅列したに過ぎず、入間市の課題や問題点が記されていない。現状の問題点と課題を良く詰めて計画を立てないと単なる作文</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p data-bbox="236 696 293 730">議長</p> <p data-bbox="236 887 352 920">木内委員</p>	<p data-bbox="467 320 1091 353">になるので、この部分を充実させたほうが良い。</p> <p data-bbox="467 383 1437 539">具体的には、前回の審議会でも委員から色々意見があったので、その内容を踏まえて、『1-2. 入間市の動向』の箇所か別の部分で、入間市の現状と課題を分析したものを記したほうが良い。</p> <p data-bbox="467 568 1437 669">前回の審議会でお願いしたが、この資料にはそれがまだ無い。最終原案までには、現状と課題をきちんと分析していただきたい。</p> <p data-bbox="467 698 1437 855">『1-1. 国内外の動向』に連係し入間市の動向は『1-2. 入間市の動向』で説明しています。現状と課題に関しては、『2. 第二次入間市環境基本計画の検証』で述べています。</p> <p data-bbox="467 884 1437 1176">今回の資料を読んだうえでの意見です。第二次計画を策定するときは、私もワーキングチームのメンバーとして議論したが、そこで1番問題にしたのは現状と課題の分析だった。基本方針・具体的施策を立てる前に現状と課題の分析をしないと、個別に入ってからでは個々の問題点となり難しくなるので、その前にしっかりやるべきだと言うのが私の意見です。</p> <p data-bbox="467 1205 1437 1361">このことについては前回の審議会でも言ったが、今回の資料には反映されていない。議事録の内容を確認して無いのではないのでしょうか。議事録の内容、委員の意見が反映されていません。</p> <p data-bbox="467 1391 1437 1491">先ほど事務局の説明で、基本方針は了承されたと言ったが、私は了承したつもりはありません。</p>
<p data-bbox="236 1525 325 1559">森委員</p>	<p data-bbox="467 1525 1437 1995">『1-1. 国内外の動向①気候変動と地球温暖化』の文章は、国の第五次環境基本計画に則ったものと思うが、文中の「平均気温の上昇」は、国の第五次計画には「気温の上昇」と記され「平均」は無い。平均が付くと年平均なのか月平均なのか良く分からない。第五次計画にはない「平均」を付け理由は何か。また同じく「雪氷の融解」や「日本でも平均気温の上昇」の「平均」が第五次計画にはない。また「台風による被害」も第五次計画にはないが、「台風による被害」は、第五次計画の「大雨の増大」に含まれているのか。さらに、文中の「これらは、地球温暖化が大きく影響</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局	しており」とあるが、第五次計画は懸念と記されている。
議長	確認し、後日回答します。
森委員	参考にしたものがあれば、整合性が取れたほうが良いと思います。
議長	『1-1. 国内外の動向③少子高齢化・人口減少と環境問題』の文中に「豊かな自然が失われ」は、人間が自然を破壊して開発してきたものが、人口減少によってそれが戻っていくのは、人間にとって環境は悪くなるのが自然の脅威になると読み取れます。
議長	森委員の意見に関し、他に意見はありますか。
議長	<意見なし>
議長	森委員の言われる表現については、国や埼玉県などの文章を参考にしたものがあれば、その内容に関して整合性を合わせることも。また、引用できるものがあれば引用することを検討していただきたいと思います。
議長	『③少子高齢化・人口減少と環境問題』について、委員の皆さんの意見を伺いたいと思います。
相葉委員	森委員の言われる事もわかりますが、ただ、どのように文章を変更したらよいか考えが浮かばないので、皆さんの意見を伺いたい。
中村委員	文中の「自然災害に対する脆弱性が～生物多様性の低下などにもつながっています。」は、違和感があると感じます。森林の増加が生物多様性の低下につながるのか理解できません。
森谷委員	人口減少の問題に関して農業従事者のことしか触れていないので、視野が狭いと思います。国や埼玉県や近隣市の計画に書かれているものを参考にしたいかがでしょうか。
永井委員	国内外の動向を2ページ程度で納めるのであれば、多少強引なまとめ方になるのは仕方ないと思います。ただ、入間市の計画を作るうえで、背景の所で時間を掛けて議論を続けるのは無駄だと思います。先ほどの意見にもありましたが、国や埼玉県などの計画を参考に作成し、入間市で何をするのかと言う所に重点をおいて議論したほうが良いと思います。

発 言 者	発 言 内 容
篠塚委員	<p>「豊かな自然が失われ生物多様性の低下などにもつながっている」は確かなことだと思いますが、現実として入間市はどうなのでしょう。入間市の場合だと鮎が戻り、水がきれいになっていく中で考えると、これはどういうことを意味しているのかと思います。</p>
議長	<p>皆さんの意見をまとめると、国内外の動向については、国や埼玉県などが述べられていることを参考に整合性を取ること。もう1点は、入間市に関するものに対しては深く掘り下げ、この段階で大きな枠組みの課題を明示すること。以上を変更する方向で第1章については、よろしいでしょうか。</p>
木内委員	<p>議長が言われた方向で良いですが、せっかく審議委員が集まっているので、入間市の動向について皆さんの意見を聞いてはどうか。</p>
議長	<p>では、入間市の課題について、委員の皆さんから意見を伺います。</p>
森谷委員	<p>入間市駅と武蔵藤沢駅周辺のごみ拾い活動に参加している。10年前と比べて、ごみは年々減少傾向にあります。たばこの吸い殻だけは減らず、むしろ増加傾向にあると思います。</p>
平塚委員	<p>委員の皆さんは、奥深い経験や知識から色々な意見を出されたと思います。しかし、市民が第三次計画を読んでその掘り下げた文章を果たして理解できるのか懸念します。いま議論している「入間市の動向」は、取っ掛かりとして市民に環境問題をイメージしてもらう部分です。市民に分かり易くすべきで、難しくするのはどうかと思います。</p> <p>また、農業従事者の立場で言えば、『③少子高齢化・人口減少と環境問題』については、確かに農業従事者の高齢化や後継者も不足によって遊休農地も増えています。その遊休農地では害虫が増えるため、人間に及ぼす環境としては良くはない。ただそれが自然界から見れば本来の姿だと言う人もいます。人それぞれの立場によって見解も分かれる。色々な方々が住む入間市なので、そこを踏まえての広い視野と市民がイメージする取っ掛かりの部分なので、入間市の動向はこのままで良いと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
中村委員	<p>2章を審議する際に意見するつもりでしたが、『基本方針2 豊かな自然環境の保全』の具体的取組について里山の保全など挙げているが、「こういった事を知るためには、こういった事業をやっているのを見に来てください」と言うような話しになっているが、私はそうは思わない。提案ですが、里山を知るために勉強する場を設けていただきたいと思います。里山などの事業を紹介するだけでなく、市民が学習する場を検討していただきたい。</p>
永井委員	<p>私は仕事柄プラスチックを取り扱っています。『1-2. 入間市の動向 ②入間市の環境に関する動向』の文中で海洋プラスチック問題について触れているが、市内の川を見てもポイ捨てされたポリエチレン袋やペットボトルが流れているのを私は見たことが無い。また、海洋プラスチック問題としてストローの使用を自粛するなど話題になっているが、実は漁業で使用する魚網の投棄や船舶から投棄されたプラスチックが多量にあると言われていた中では、マイバックの利用やストローの素材を変更するなどには微々たる問題です。特に日本はプラスチックごみの回収が進んでいるので、私から見るとこの記述は強引に思えます。</p> <p>「ポイ捨てなどでプラスチックごみが河川を通じて海に流れこむことが大きな要因となっており、解決策としてマイバックの利用を推進する」と言うのは、短絡的に思います。この部分については、入間市の現状を踏まえた課題にするべきだと思います。</p>
篠塚委員	<p>主婦の目線でいつも思うのは、昔はプラスチックごみより可燃ごみが多かったが、最近は逆転して可燃ごみよりプラスチックごみの割合が多くなったように思える。一方で、会社のプラスチックごみはお金に換えて処理できるようだが、入間市ではどこに行けばそういう処理をしているのか。そういう発信があると良い。</p> <p>また、ごみチャンネルはとても良いものですが、高齢者の中にはインターネット機器に不慣れな方にもいるので、冊子があったほうが良い。私も</p>



発 言 者	発 言 内 容
齊藤委員	<p>やっていますが、実際に電話をするのが早い。リサイクルプラザの職員は、とても親切で、内容をよく聞いて、バット答えてくれる。この点は、入間市はとても発展しているので、活用すると良い。</p> <p>国内外の動向に対する皆さんの意見を聞いて理解できる部分もありますが、環境に関する書籍を読んで知った限りでは、人それぞれ見解が違うので、「これが正しい」は無いとありました。したがって、皆さんが言う正しい文章が出来るのか疑問に思います。</p> <p>また、この第三次計画の策定をコンサル業者に頼んで立派なものを作ることはとても良いことかもしれませんが、最終的に市民が読んで内容を理解して環境活動を実践に移すくらいの計画で良いのではと思います。</p>
木内委員	<p>市の行政としての計画を立てるのだから、対象は、市、事業者、団体、市民といくつかある。審議会が計画を立て、実行するのは環境まちづくり会議と第1次からやっている。仕事ではないので、実行に限界がある。他市では、コンサルを使って作っている。コンサルは市民、事業者の意見を調査し、分析し反映させる。第二次計画のときも、ワーキングで策定したので第一次の文言を少し変えた。しかし、手法がおかしいところもあったので、第三次では正していこうということになっていた。ですから、事務局は相当頑張らないとできない。市民にわかりやすくするのは無理がある。</p>
加治委員	<p>前回の審議会で『基本方針3 基本施策3 入間市らしい景観』がありましたが、私は「市民が作るもの」との印象を受けました。そこで、知人等に入間市らしい景観についてどう思うか質問すると、誰からも明確な答えが無く、あまり関心が無いようでした。</p> <p>平塚委員が言われるとおり、この計画書を読むのは市民であり、その市民が共感し展開していくものなので、今回の資料からチャラチャラした表現が無くなって良かったと思います。</p>
相葉委員	<p>第二次基本計画には無い国内外の動向ですが、これは不要ではないかと</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>思います。この部分を加えると精査しなければならず、先ほど意見にありました国や埼玉県などの計画を引用するのも結構だが、わざわざ市役所に教えてもらわなくても、この情報は手に入るので必要ないと思います。</p> <p>木内委員が言われるように、入間市の現状と課題を始めに持ってくるほうが、入間市の基本計画だとアピール出来ると思うし、先ほどの話しにあった海洋プラスチック問題が入間市とどう関係があるのか、読んでみて話しがぼやけると感じます。国内外の動向を書くのであれば、項目別に書かずもっと簡潔にして、直ぐに入間市の現況に入ったほうがアピール出来ると思います。もう少し作業レベルで落として考えないといけないと思います。</p>
議長	<p>皆さんご意見ありがとうございます。只今のご意見を参考に修正をしていきたいと思います。</p>
木内委員	<p>第1章に関して、他に意見はございませんか。</p> <p>この状態で言うと時間が限られているので、姿勢については先ほど言ったとおりなので、ただそうなる位置付けとか相葉委員が言われた、国内外の動向は不要と言うことであれば、この計画が入間市に特化した部分の強調に当てるとなると、基本方針1及び基本方針2の立て方がガラッと変わる。現状と課題で、例えば『5-2. 施策の体系』。そうするとこの施策の体系に「循環型社会の更なる推進と地球温暖化対策の推進」が1番に出てくることは、私は間違いだと思います。入間市に特化した計画だから入間市の出来ることだったら、むしろ『基本方針3 住みやすさが実感できる都市環境の構築』の人が住んでいるところが第1で、基本方針4が第2で、基本方針2が第3、第4が基本方針1の位置付けになる。そうでなければ、いきなりボケた話しが始まる。今の話しを借りれば。</p>
議長	<p>私はそうは思いません。</p>
木内委員	<p>これは私の意見です。基本方針5は、この5つをやるために勉強しなければならぬから、第5でも良い。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>意見はあると思います。地球環境に関しても、私が所属する入間市環境まちづくり会議には地球温暖化防止部会があって頑張って活動している。ただ、環境まちづくり会議の会長としての意見ですが、地球温暖化防止部会は実行部隊としての位置付けです。今回も多分同じ位置付けだろうと思いますが、最初から環境審議会で計画を立てて、実行するのは環境まちづくり会議だと言っているわけです。それはちょっと無理だと思ってもその位置付けなので仕方が無い。</p> <p>その中の環境審議会で、ではどこまで出来るのか。前回の計画のときも施策の体系があってその進捗を確認しているが、新しい審議委員は疑問に思う。ましてや市民は、疑問に感じると思う。この計画の体系自体が。そして一番関心があるのは、住みやすさではないかと。市民の立場に立って一番重要なのは住みやすさ。入間市に何故引っ越してきたかと言えば、自然が豊かだから。元々の入間市民は2～3万人で、それが15万に増えたから大半は市外から来た市民である。その市民の意見を聞くと、ほとんどが入間市は自然が豊かだからと言う。では入間市の自然は何かと言えば、入間川、霞川、不老川と加治丘陵、狭山丘陵と金子台の茶畑です。私は、茶畑は農地であって自然だとは思いませんが、一般の人は緑と自然を混同しているので、自然と思っている。そうすると、この住みやすい緑の豊かな入間市に引っ越してきた人は、どんどん開発して緑がなくなると思いきや環境調査をしてみたら、緑が増えている。何故増えたか、それは耕作放棄地が増えたからです。農家にとっては平塚委員が言われた害虫が増える。その一方で自然環境的に言えば、人間が壊した自然環境が戻っているところがあるが、もう一方、その中間に二次自然があって、これは人が働きかけた里山です。人の手の入らなくなった土地をボランティア団体等の管理で、二次的自然が回復している。住みやすさの基はこう言うことである。</p> <p>そのせいで、（基本方針4の）安心して暮らせる、きれいな空気、きれいな水、そして災害が起こらない。災害は、先日も大雨で霞川があふれそ</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>議長</p> <p>森委員</p>	<p>うになった。全国各地で災害が起きている。これは地球温暖化のせいで、洪水の可能性が分かっているにもかかわらず、被害がどんどん出る。そのなると逃げろと言う話しになる。</p> <p>だから、基本方針3と4が生活する市民にとって重要である。そして豊かな自然（基本方針2）はあったほうが良いに決まっているが、少しウエートが下がる。その先にある地球環境（基本方針1）は、実際は日々のことと言うがちょっと遠い。</p> <p>その位置付けで言ったら、基本方針1：住みやすさが実感できる都市環境の構築、基本方針2：安心して健康に暮らせる生活環境の保全、基本方針3：豊かな自然環境の保全、基本方針4：循環型社会の更なる推進と地球温暖化対策の推進、基本方針5：環境学習の推進と環境学習の実践の順番になると思います。</p> <p>したがって、この議論を今日しなければならない。これを出すためには、入間市に何が大事か？課題は何か？ここで議論しなければならない。</p> <p>1番重要なのは施策の体系である。前回は施策の体系を議論したが、全然ダメで審議に値せずと言う感じだった。今回の資料を見ると、前回の意見が反映されていないと私は感じる。</p> <p>今で言うと、基本方針の順番が違うと言うのが、私の意見です。皆さんの意見も聞いてください。</p> <p>皆さんの意見を聞いてもらって、入間市にとって1番重要なのは何か？と言うことであれば、そっちの方針を1番から上がっていくべきだと思います。</p> <p>木内委員から非常に重要な議論ということで、基本方針の順番について、皆さんの意見を伺いたいとのことです。ご意見のある方は発言をお願いします。</p> <p>私もそう思います。国や埼玉県が作る環境方針と入間市が作る環境方針は、順番が違っても構わないと思います。どちらか言えば、地球温暖化、</p>

発 言 者	発 言 内 容
森谷委員	<p>国の方針のとおり。河川、埼玉県のとおりやれば良いと思います。入間市は町などの問題や市民の様子を見て力を入れてやりますでも、良いのではないかと思います。</p> <p>前々回の審議会で、世の中で1番問題になっているのは地球温暖化であって、その影響による災害や熱中症などの問題が現時点での日本における1番大きな問題ですので、入間市民としてもほっとくわけには行きません。それで世間で問題視されているものを第一に取り組むという事で、第二次計画とは基本方針の順番を変えることを議論して、第三次計画の基本方針を決めました。</p> <p>その決めたことをひっくり返すような議論は、何のために前々回の審議会で議論したのか分からなくなります。色々な案があるかも知れませんが、審議会として決定したことは踏襲しないとまとまらないと思います。</p>
篠塚委員	<p>私は検証に関しては、これでいいのではないかと思います。世界的なことは、頭の中ではなんとなくわかっているが、入間市民としてどのような事ができるのかという、流れがスムーズになると思う。</p>
相葉委員	<p>基本方針の順番の変更については、パソコンで簡単に順番を変更できるので難しいことではないと思うが、個人的には基本方針の順番はどちらでも良いと思います。基本方針1の地球温暖化対策は世界的に重要な課題だと思いますが、基本方針の中身を見ると、ごみのリサイクルや省エネなど取り組みだけ、それで地球温暖化対策の推進と言うのは違和感があるので順番を下げるという考えも分かりますが、あまり議論しなくても良いと思います。</p>
森委員	<p>『4. 望ましい環境像』の『一人ひとりが、身近な生活レベルから地球環境の保全に貢献できるまち』は、これが基本方針1になると表現が難しくなっている。表現を望ましい環境像と同じようにしてはいかがでしょうか。</p>
木内委員	<p>望ましい環境像を基本方針にしても良いかもしれません。基本方針の表</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>現が難しい表現でも、中身を見るとトーンダウンしている。循環型社会は大変だけど中身（具体的取組）は3つしかない。地球温暖化対策の推進は、身近な生活レベルから地球環境の保全に貢献できるという事で、この方針になっているが逆転していると思う。身近な問題からだったら、ごみ減量の推進などに焦点があたる。この計画の見せ方の問題である。</p> <p>あまり基本方針の順番について議論しても時間をもったいない。一度、議論を先送りにし、今回の提案内容を全部見てから再度議論してはどうか。森谷委員が「前々回の審議会で決めたことだから、変えなくて良いのではないか」と言われましたが、計画は何度も練り直すものです。最初からよく分からないまま立てた基本方針と施策の体系を、「これで良いのではないか」と議論しないで決めたと私は思います。基本方針と施策の体系は、前回の審議会の時と変わっていない。あんなに議論したのに全然変わっていないので、「どういうことなのか」と思う。</p> <p>前回の議論を受けて体系などを見直してあるのかと思ったが、全然見直されていなければ、議論したかいがない。これは、事務局がギブアップしてこれしか作れないと言っているようなものであるから、しょうがない。</p> <p>あと中身ですが、例えば基本方針1で言えば、循環型社会とか言っているが片手落ちではないかと思います。循環型社会と色々書いてあっても、この絞った形になっているかと言ったら基本は同じです。</p> <p>この施策の体系を変更しないのであれば、第2章の前に議論しなければいけないが、第1章の議論を先送りにして第2章で中身をチェックして施策の体系を想像がつくかどうか。また、こういう風を書いてしまうと、施策一つひとつに重要なウエートが掛かかるのでじっくり見るが、中身を見たら「これしか書いてない」と、ガクツとなるから施策の体系は後で議論して、先に第2章を議論してはいかがでしょうか。</p> <p>そして、『6. 持続可能な開発目標（SDGs）への貢献』は、貢献すると宣言しているので、1歩進歩したと思う。SDGsは、国の施策だけ</p>

発 言 者	発 言 内 容
森谷委員	<p>ら、自治体はやらなければいけない義務がある。</p> <p>木内委員の意見に反対です。1度決めたから、そのとおりやれと言っている訳ではありません。前々回、前回と施策の体系図について審議しました。『2-2. 第二次入間市環境基本計画の評価と課題』にあるとおり、二酸化炭素排出量の削減と豊かな自然環境の保護が第三次計画に向けての課題となり、それを受けての第三次計画の基本方針の順番ができています。</p>
木内委員	<p>森谷委員の意見に反論です。過去2回の審議会議事録には、我々委員の意見が記されているが、その意見がどこに反映されているのか。私はそれを指摘しているのです。</p> <p>前回の審議会で「これで良い」とは、誰も言ってないと私は理解しています。審議委員のみなさんは、前回の体系は色々問題があるからもう一度吟味しなさいと言ったと理解しています。</p>
森谷委員	<p>私は、そうは思いません。</p>
木内委員	<p>私の受取り方と違うようです。1月の審議会の議事録に篠塚委員の意見に「基本方針の表現を体言止めよりも第二次計画と同じ用言で表した方が、市民は受入れ易いと思う」と発言していますが、その意見の対応や回答もなく、今回の資料の基本方針も以前のままです。</p> <p>審議委員の意見は交換したが、その意見を受けて事務局が前の計画の必要な部分を直すのが普通のやり方です。例えば、緑地計画などをコンサルがやる時は、主要な意見を「今回このように変更しました」となる。それをやらないから、審議委員の受け取り方が違う。</p> <p>それだとダメだと思うので、私は言っている。今回しか言う場が無い。第3回審議会は、まとまった形で表現を変えるだけなので、今回は審議の本番だから言っている。要するに1回、2回目で決まったことはない、私は思っている。1回目は、体系について話しました。2回目はこういう。それでだいたい出来上がってほぼ形になったものに、審議委員に「こ</p>



発 言 者	発 言 内 容
	<p>れで大丈夫ですか」と、一つひとつ表現を確認していくわけです。そう言うことは、審議の進め方に皆さんが納得しているのであれば良いのですが。私個人の問題であればいいが、そうではないと森谷委員と私の意見が違うので、皆さんの意見が2回目でのこの体系が承認されたと言うのであれば、私の考えがおかしいとなる。しかし、皆さんを見ていると、とてもそうは感じられません。</p>
森谷委員	<p>木内委員と考えが違うので、基本方針の順番について審議会で決めていただきたい。</p>
木内委員	<p>議長に、皆さんの考えを確認していただきたい。</p>
議長	<p>先に私の意見を申します。私も森谷委員の意見のとおりと思っています。</p>
木内委員	<p>議長の意見は聞いていません。議長には、個別の意見を聞いてもらい取りまとめてもらうので、議長の意見は最後に言っていただきたい。</p>
森谷委員	<p>ここで、表決したらいかがでしょうか。</p>
	<p>《5分間休憩の後、審議再開》</p>
議長	<p>審議を再開します。先ほど木内委員と森谷委員で議論していただきましたが、基本方針と施策の体系は計画の重要な部分でありますので、皆さんの意見を伺いたいと思います。</p>
相葉委員	<p>先ほども申し上げましたが、基本方針の順番はあまり議論する必要はないと思います。このままの順番でも良いし、この順番がおかしいと言うのであれば、多数決で。特に私は拘っていません。</p>
加治委員	<p>この資料のとおりでよろしいと思います。特に国際的な問題が、入間市とどう結びつくのか国際感覚のある若い世代は、積極的に反応するかもしれませんので、この順番でよろしいと思います。</p>
斉藤委員	<p>前回、前々回の審議会で基本方針の表現を、体言止め又は用言止めのど</p>



発 言 者	発 言 内 容
	<p>ちらが市民にとってわかり易いのかと議論しましたが、私の意見ですが、第二次計画は今回の第三次計画の体系とは順番が逆の流れになっています。第二次計画を読むと違和感を覚えるのですが、市民に関することの手かれた部分で「基本方針1 環境意識を持ち、自発的に行動する市民になる」とあります。先ほど木内委員が「環境基本計画は市が出すもの」と言われましたが、この「市民になる」は、市民が作った計画であればこの表現も理解できますが、市が作った計画であればこの言葉はおかしいと思いました。</p> <p>先ほどの答えとしては、市が作るのであれば基本方針の順番を逆にしたことは、大きい事からやっていくことが良いことではないかというワーキングチームでの結論です。</p>
篠塚委員	<p>自分を市民の立場で見ると、この基本方針の順番で受け入れられると思いました。</p>
永井委員	<p>時間との兼ね合いによりますが、時間的に間に合うのであれば木内委員が指摘したとおり順番を直したほうが良いと思いますが、時間がなければ現状のままでも構わないと思います。</p>
中村委員	<p>時間的に見ても、順番を変更する余裕はないと思うので、現状のままが良いと思います。</p>
平塚委員	<p>基本方針の順番については変更すると更に時間が掛かり大変なことになるので、現状のまま進めて行くしかないと思います。</p> <p>また、皆さんに基本方針の順番を見直した経緯についてまだ伝わらない部分があると思います。議長は計画の策定に携わっていただいているので、議長から解説していただければ理解が進むと思います。</p>
森委員	<p>先ほど言いましたが、望ましい環境像と基本方針の表現が変わっているのですが、並びとしては似ています。何でこんな難しい言葉を使って同じことを書いているのかよく分かりません。望ましい環境像と基本方針がほとんど変わらないが望ましい環境像の方がわかり易いイメージがあるの</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	で、表現を変えたほうが良いのではと思います。
議長	基本方針の順番は望ましい環境像と合っているので、表現を変えたほうが良いということでしょうか。
森委員	望ましい環境像の書き方は、番号がないので並列です。並列ですが順番です。上手い書き方だと思います。
議長	基本方針の順番の変更について各委員からの意見をまとめると、「時間を要するのであれば順番を変えない」の消極的な賛成が6点。「順番を変えない」との意見が4点。また、「どちらでも良いとの意見が1点」でした。  皆さんの意見を勘案すると時間的な兼ね合いとの条件はありますが、基本方針の順番を変更しないとの意見が多数でした。
篠塚委員	先ほど森委員の言われた、望ましい環境像は並列なのでしょうか。それと基本方針に繋がっているのでしょうか。
議長	ご質問の部分については、ワーキングチームでもかなり議論しました。基本方針に1から4と括りはありますが、これは重要性を位置付けているのではなく単なる連番です。  資料の『5. 基本方針』も基本方針を順番に並べるのではなく、例えば木の幹に基本方針5はベースとなるので土壌として表し、枝の実の部分を基本方針1から4を表現するイラストにするなどと話し合っていますが、時間が無く資料には掲載出来ていません。  基本方針が大きい課題から小さい課題へとなっていますが、基本方針1から4は並列と考えています。
木内委員	では、資料『5. 基本方針』は、これから検討して伝わるような表現に変更するのでしょうか。
議長	はいそうです。
木内委員	いま議長が説明した内容がこの資料では分かりません。基本方針の番号があると序列がつくと思ってしまう。『4. 望ましい環境像』は並列

発 言 者	発 言 内 容
森委員	<p>にしているのです、基本方針も同じようにしてもらいたいですし、望ましい環境像を実現するために基本方針があるので、その関係性の図を1枚絵で作っていただきたい。</p> <p>第1章については、必要があったらまた審議するのはいかがでしょうか。全ての審議を終えて、必要があればまた戻ってくるのはいかがでしょうか。</p>
木内委員 議長	<p>それが1番良いです。これで決めないで一応の仮押さえ。</p> <p>第1章については、他に意見はよろしいでしょうか。</p>
森谷委員	<p>『2. 第二次入間市環境基本計画の検証 ②基本方針2「安心して健康に暮らせる生活環境を保全する」』に、「悪臭、土壌などの公害防止の取り組みは、概ね目標を達成できました。」とあるが、その上段の文章を読むと目標を達成出来たとは思えません。悪臭、土壌は、大気汚染であって、水質汚濁とは別項目の悪臭、土壌ということで記されているのでしょうか。</p>
議長	<p>森谷委員の言われた認識で、ワーキングチームで議論しました。大気汚染、水質汚濁と悪臭、土壌は公害防止です。</p>
森谷委員 議長	<p>悪臭の公害防止は分かりますが、土壌の公害防止とは何でしょうか。</p> <p>土壌汚染になります。</p>
木内委員	<p>グラフで表さないと、何が正しいか分かりません。文章では分かりにくいです。他の市町村の計画を見ると、グラフで表しています。</p> <p>今回の資料も暫定的なもので、後で事務局が補足してくれることを期待します。</p> <p>文章も一字一句言うときりが無く、今指摘しても議論が進まない。最終段階で表現は指摘すれば良いです。今は骨格や進めかたの議論をしたほうが良いと思います。</p>
森委員	<p>『2. 第二次入間市環境基本計画の検証 ①基本方針1「環境意識を持ち、自発的に行動する市民になる」』の「環境アドバイザー制度の活用が</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>課題となっています。』とあります。また、第2章の『基本方針5 環境学習の推進と環境活動の実践』の現状と課題に「環境市民講座では環境アドバイザーにより、地球環境や自然環境、都市環境などの広い分野の講座が展開されています。」とあります。問題提起と課題に整合性が無いと思います。</p> <p>個人的意見ですが、環境アドバイザー制度ができたのは20年位前で、それから10年経ってあちらこちらで省エネルギーセンターも色々変わってきている。しかも、それが同じような数が少ないだけが問題と言うのはシステムそのものを考えほうが良いのでは思いましたが、第2章を読んでも何もありませんでした。何か提案をお願いします。</p>
議長	<p>他に意見はございますか。</p> <p>&lt;意見なし&gt;</p>
議長	<p>いただいた意見を参考に修正を事務局をお願いします。この後の予定について事務局から説明をお願いします。</p>
浅川課長	<p>会場の利用時間も迫っているので、第2章については後日、審議をお願いいたします。</p>
議長	<p>事務局と話し合いましたが、当初に予定の無かった8月に審議会を開催します。次回は、第1章の変更の確認と第2章の審議を行いたいと考えております。</p>
浅川課長	<p>次回の開催日につきましては、後日ご案内いたします。</p> <p>&lt;閉会&gt;</p>
川名副会長	<p>閉会のあいさつ</p>

発 言 者	発 言 内 容
議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。	
令和元年 8月21日	
議 長 の 署 名	黒瀧 孝秀
議長が指名した者の署名	川 乃 千鶴子

